

## 第48回 美参会 & 一線美術愛知支部 絵画展 を終えて

- 会期：平成30年8月7日(火)～12日(日)
- 会場：刈谷市美術館 第3展示室

気温 35 度超えが日常となってしまった今夏、8月7日から12日までの6日間、刈谷市美術館において美参会&一線美術愛知支部絵画展を開催しました。

本展への出品を見据えて制作した80号から120号の作品10点を中心に総数57点(出品者16人)を展示、初日正午から開場することができました。

この支部展は、本展に向け格闘した自身の作品を傍観者の目で眺めることができる機会でもあり、様々なアドバイス等を得るチャンスでもあります。特に高木理事が来刈いただいた際は、多くの会員が次々と指導を仰ぐ姿が見受けられ、それぞれに満足を得たのではないのでしょうか・・・高木様、大変お疲れ様でした。お礼申し上げます。

会期中は、猛暑続きで外出を抑える旨の報道もあり、例年に比して若干来場者が減少したものの、100号大の作品を含め1人あたり3～5点の作品を一度に鑑賞できるこの展覧会を毎年楽しみにしてくれているファン?が沢山いるようで、頼もしい限りです。

本年も一線スケッチ会の作品を展示、例年はスケッチ先の様々な風景画が並ぶのですが、今回は(4人参加)、箱根くらかげゴルフ場近くの見晴らし台から芦ノ湖を眼下に駒ヶ岳を望む構図の4作品・・・横並びに同じ風景を四者四様に活写した作品を前に「同じ場所からの風景だ・・・」「これが作者の個性なんだね・・・」とのささやきが多く聞かれました。

展示作品は、いずれも馴染み易いモチーフであり、またそれぞれに個性ある作品が並び、見飽きないし作品レベルが年々向上している。と大変好評をいただくことができました。最終日まで多くの鑑賞者を迎えながら会期を終えることができたことをお伝えし支部展の報告とさせていただきます。

一線美術愛知支部代表  
鈴木康則

